



# 学 び 舎

城山小学校だより第21号

令和7年1月28日 文責 荒木 浩雄

## 校則見直し・学校指定物品検討委員会

1月24日（金）児童代表・学校評議員・PTA 副会長・学校職員が集まり、校則見直し・学校指定物品検討委員会を開催しました。校則見直しでは、主体的に考え行動できる児童の育成を目指して、自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守るという民主主義の基本を身につけながら、自ら判断し行動できる児童を育成することを目的として取り組みました。今回は、児童が代表委員会等で話し合っ



た内容を報告しご参加いただいた方々からのご意見を伺いながら、よりよい校則の在り方を検討しました。本日の検討委員会の結果をもとに、最終決定したことを校則として守っていくように取り組んでいきます。

その後、学校指定物品検討委員会では、名札について確認しました。名札は、これまで指定されていた物ではなく、近隣のお店で販売（ネット販売も可）される同用品を着用するようになります。参加者から「首から下げる名札は危険なので、名札とはどのような物なのか分かりやすく画像等で提示した方がよい。」との助言をいただきました。来年度から名札は、学校での販売はなくなり、各自でお店に行ったりネットで購入したりすることとなります。よろしくお願ひします。

## 学校評議員会

同日、学校評議員会を開催しました。今年度の学校の取り組み等、教育活動の進捗状況や児童・保護者・教職員・評議員の皆様にご回答いただいた学校評価の結果について報告させていただき、評議員の皆様からご意見を賜りました。今回は、『「聴き方あいうえお」とてもよいこと』『学校ホームページ等個人情報の管理も大切』『タブレットが新しくなる。扱いを丁寧にする等、壊さないような対策も大切』『こどもが自分で決めることができるようになるために、大人が待つ。こどもが決めるまで大人が待つことが大切』等のご意見を賜りました。これからの学校運営に反映させていきたいと考えております。

## いじめ防止等対策委員会

同日、いじめ防止等対策委員会も開催しました。本委員会は、いじめの防止、いじめの早期発見及び対処方法等協議するために設置しています。外部の専門家として精神保健福祉士、PTA 副会長、学校評議員代表、民生児童委員代表の方をお招きして、こどもが自尊心を高め、安心・安全な生活を送るためにも「SNS は切り離せない生活環境になっているが、対面に関わることの良さを実感させることも大切」「友達との関わりの楽しさを増やしていく」「リアルな物・ことに楽しさを感じさせる」「他者に相談できる力を育てることも大切になる」等貴重なご意見を賜りました。

